

みずほCustomer Desk Report 2025/09/29 号(As of 2025/09/26)

みずほ銀行 国際為替部

【昨日の市況概要】

				公示仲値	149.79
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	149.87	1.1660	174.75	1.3334	0.6536
SYD-NY High	149.96	1.1707	175.02	1.3413	0.6551
SYD-NY Low	149.41	1.1659	174.69	1.3333	0.6521
NY 5:00 PM	149.52	1.1700	174.96	1.3403	0.6547
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	46,247.29	299.97	日本2年債	0.9300%	0.0000%
NASDAQ	22,484.07	99.37	日本10年債	1.6500%	0.0100%
S&P	6,643.70	38.98	米国2年債	3.6420%	▲0.0185%
日経平均	45,354.99	▲ 399.94	米国5年債	3.7625%	▲0.0034%
TOPIX	3,187.02	1.67	米国10年債	4.1726%	▲0.0020%
シカゴ日経先物	45,215.00	▲ 245.00	独10年債	2.7449%	▲0.0269%
ロンドンFT	9,284.83	70.85	英10年債	4.7465%	▲0.0065%
DAX	23,739.47	204.64	豪10年債	4.3920%	0.0510%
ハンセン指数	26,128.20	▲ 356.48	USDJPY 1M Vol	8.48%	0.03%
上海総合	3,828.11	▲ 25.20	USDJPY 3M Vol	9.19%	▲0.01%
NY金	3,809.00	37.90	USDJPY 6M Vol	9.28%	0.06%
WTI	65.72	0.74	USDJPY 1M 25RR	▲0.57%	Yen Call Over
CRB指数	305.03	1.69	EURJPY 3M Vol	7.44%	▲0.11%
ドルインデックス	98.15	▲ 0.40	EURJPY 6M Vol	7.91%	▲0.05%

東京	東京時間のドル円は149.87レベルでオープン。取引時間前には9月東京都区部CPIの弱含みなどから円が売られ、一時前日高値を上抜けた。しかしその後は、海外時間に控える米8月PCEデフレーターへの警戒感などから勢い続かず、149円台後半で方向感なく推移し、149.77レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル円は149.77レベルで始まり、米国のPCEデフレーター発表を控えて149.66～149.95の間で方向感なく推移。ドル円は149.80レベルでニューヨーク市場に引き継がれた。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、朝方に発表された米8月コアPCEデフレーターが予想通りだった事から特段大きな反応は見られず。しかし、続いて発表された米9月シガン大学消費者マインド指数が予想を下回ると、米金利の低下に伴って149.41まで下落。午後は週末を控える中、149.50付近で動意に乏しい推移が続き、149.52レベルでクロスした。一方、ユーロドルは先述の米金利の低下に伴うドル売り地合いを背景に1.1707まで上昇する底堅い推移。午後は高値圏の1.17台ちょうど付近での推移が続き、1.1700レベルでクロス。

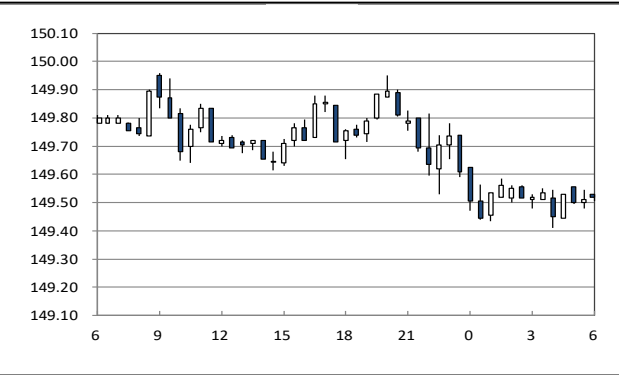
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月26日	08:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	9月 2.5%/2.5%/2.5%	2.8%/2.8%/2.9%
	21:30	加 GDP(前月比/前年比)	7月 0.2%/0.9%	0.1%/0.7%
	21:30	米 個人所得(前月比)	8月 0.4%	0.3%
	21:30	米 個人支出(前月比)	8月 0.6%	0.5%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前年比/前月比)	9月 0.2%/2.9%	0.2%/2.9%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	9月 55.1	55.4

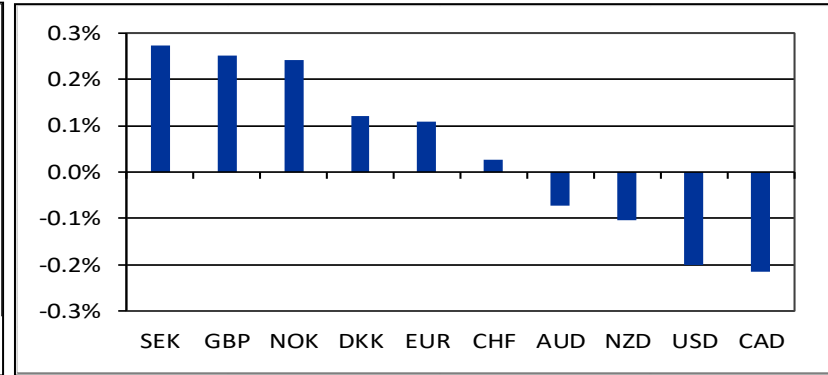
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月29日	18:00	欧 消費者信頼感・確報	9月 -	-14.9
	23:30	米 ダラス連銀製造業活動	9月 -1.6	-1.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.50-150.50	1.1670-1.1730	173.80-175.80

【マーケット・インプレッション】

先週のドル円は米経済指標の強い結果を受け、週後半におよそ2ヶ月ぶりの水準となる150円手前まで上昇。米経済の底堅さが意識される内容となったものの、米物価関連指標では市場予想通りの結果となり、次回FOMCでの利下げ織込みに変化はない。他方、日銀は前回会合で政策金利維持を決定し、ETFの売却方針を発表。利上げへ票を投じた議員もいた一方で植田総裁の利上げへの慎重姿勢は不変である。このような状況下、今週本邦では日銀の主な意見や日銀短観、米国では雇用関連指標の発表が相次ぐ。両国の金融政策を見極める材料となることから神経質な相場展開が予想されるが、本日については特段のイベントもないことから、ドル円は149円台を中心としたレンジ推移を見込む。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。